



## 1 お詫び

皆さんにお詫びすることがあります。部活動・同好会の設立や昇格について、後から判断基準を変更・追加したことです。

6月にアンサンブル同好会から部活動への昇格願が提出されました。これまでの活動実績は十分で昇格させない理由はなかったのですが、職員で検討を繰り返して3ヶ月後の9月に「部昇格を認めない」判断をアンサンブル同好会・代表生徒に回答しました。

現在の文芸、アンサンブル、水泳の3同好会が設立される際の審査基準は、所属人数や既存部活動と重複しない活動場所の確保、活動時の安全面などでした。今回は、設立時の審査にはなかった「平成32年18クラスになった時の教員数に応じた部活動の適正数」という新たな基準で判断しました。

クラス数の減少に伴って教員数も少なくなります。平成32年には現在の62名から43名となる予定です。現在数の部活動・同好会に主顧問・副顧問を最低限に配置すると、48名の教員が必要となり5名が不足するために、3つの部を掛け持ちする副顧問を置かなければなりません。こうした状況から、今以上に部活動・同好会を増やすことはできないと判断しました。

この近い将来への対応を昇格願が提出された後から検討し始め、部昇格の判断基準を変更・追加しました。4月に配布した後期課程ハンドブックを検討する段階で将来像を考慮して変更していれば、今回のようにアンサンブル同好会の皆さんを傷つけるような対応にはならなかったはずです。後から判断基準を変更・追加したことと私たちの見通しの甘さで皆さんを混乱させてしまったことにお詫びします。本当に申し訳ありませんでした。

将来の実態に合わせた変更と皆さんの積極的な活動を支援できるように、「部・同好会規定」の改定を現在検討しています。

## 2 「日本の所作を学思考」

阪急電車内である乗客の方が、お菓子やアイスクリームを飲食している本校生徒数名に注意をし、「学校ではどんな指導をしているのか？」と学校に通報がありました。この行いの問題点は「ONとOFFを区別する」ことではありません。制服を着ている登下校中のONであっても、私服を着て出かけている時のOFFであっても、電車・バス内や歩きながらの飲食はマナーが悪く、品のない行いだと思いませんか。

「誰にも迷惑をかけていない」と考える人もいるでしょう。しかし、日本の社会において所作※や身だしなみを大切にするのは、マナーというだけでなく文化ではないでしょうか。「次に座る人が気持ちよく利用できるように」という乗客の思いやりと、「いつでも快適に利用していただくために」という乗務員のおもてなしの心は引き継がれてきた文化です。皆さんはこれからの日本文化を創造する担い手です。文化は時代によって変化しますが、今回のような行いを新たな文化として残すのでしょうか。自分の子どもたちにも継承させるのでしょうか。 ※「所作」：行い、振る舞い、身のこなし

